

市の取り組み

市は、これまで行ってきた節電の取り組みを今年はさらに拡大して実施。市民の皆さんへの影響を最小限にとどめつつ、節電を進めていきます。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いします。

節電期間中、常時実施するもの

以下の対策を実施していきます

節電効果

取り組みによる
節電効果の合計 **10,903kW**

2010年度の最大電力
112,490kWと比較して **9.7%の節電**

市役所
区役所
など

庁舎や市民が利用する施設の
節電を行います

節電効果 **3,387kW**

市役所や区役所などの庁舎で、エレベーター使用制限、照明間引き、空調温度管理などを実施するほか、市立の小中学校や病院、円山動物園やKitaraなどの施設でも節電に取り組みます。



市役所のエレベーターは、9/14（金）までの日中、8台のうち2台を停止する。

地下鉄

駅の換気風量の抑制や、
車内照明の間引きなどを実施します

節電効果 **2,239kW**

駅構内の空気を外気と入れ替える装置の設定を変え、全駅で換気風量を抑制します。また、全ての路線で終日、地下鉄車内の照明の間引きします。



運行に支障のない範囲で、1車両あたり6本程度の照明の間引きする。

清掃
工場
など

運転の一部停止や、
操業時間の短縮などを実施します

節電効果 **3,206kW**

ごみの焼却灰を1,400度の高温で溶かす、白石清掃工場の「灰溶融炉」の運転を停止するほか、紙や木、プラスチックのごみから固形燃料を作るごみ資源化工場の操業時間を短縮します。



灰溶融炉。工場が発電した電気で動くため、停止すると余剰電力を北海道電力に売却できる。

水道・
下水道

ポンプや汚泥脱水機の
夜間運転などを実施します

節電効果 **2,071kW**

電力消費のピークである日中を避けるため、これまで昼夜を問わず断続的に稼働していたポンプ設備や下水汚泥の脱水機を、一部夜間運転に切り替えます。



手稲区の曙ポンプ場のポンプ設備。夜間運転により、日中の消費電力を削減する。

緊急時に実施するもの

電力不足が深刻化し、北海道電力から緊急の要請があった場合に実施します

節電効果

取り組みによる
節電効果の合計 **4,091kW**

2010年度の最大電力
112,490kWと比較して **3.6%の節電**

地下鉄	・運行ダイヤの間引き、車内ファンの停止	節電効果 725kW
清掃工場など	・破碎工場や埋立処理場にある機器の一部停止など	節電効果 1,719kW
水道・下水道	・水をきれいにする「ろ過池」の洗浄作業を夜間に切り替え ・緊急用に設置している下水道の自家発電機を運転	節電効果 1,647kW

平常時と緊急時、全ての取り組みを実施すると → 2010年度の最大電力比13.3%の節電が可能

企業の取り組み

店舗や工場などで、業務用として使われる電力量は市全体の約6割。こうした中で、企業でも節電に取り組んでいます。

電力を“見える化”し、従業員みんなで節電中！

私たちのスーパーでは、4年前から電力の使用状況をパソコンに表示し、即座に確認できるようにしています。店舗で使用している電力の内訳が一目で分かり、従業員の節電に対する意識も格段に高まりました。また、使用電力が基準を超えると節電担当者に警報メールが届くシステムを導入し、最大電力量の約8%削減に成功。着実に成果を上げています。この夏も、従業員みんなで力を合わせて節電に取り組んでいきたいですね。



北雄ラッキー(株)総務部 環境問題担当 野呂田 歳也さん



陳列棚ごとの照明を外し、上から照らすだけの方法に変えることで20%近い節電に成功。